

太陽光パネルのリサイクル事業について

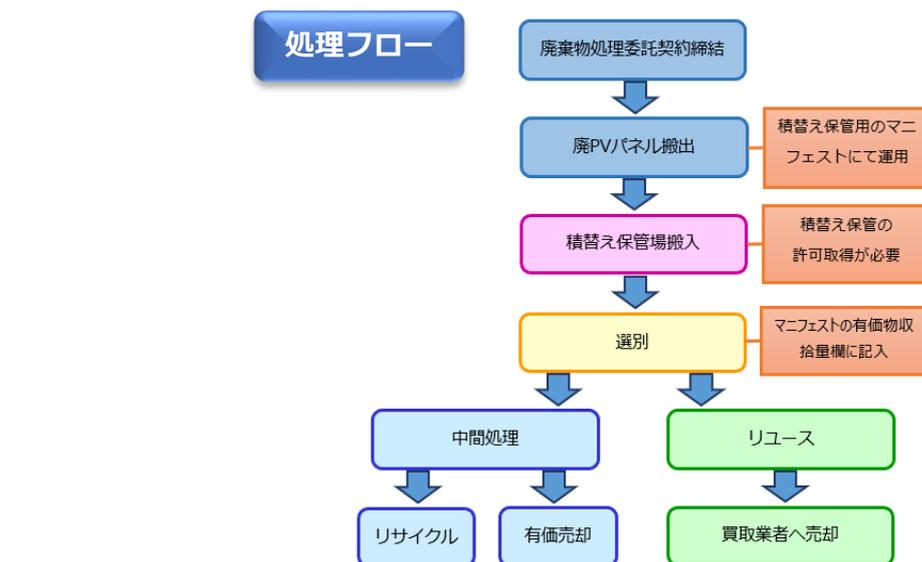
【背景】

2012年に開始されたFIT制度により急速に普及・拡大した太陽光発電事業は、今や全国各地で大規模に展開されております。一方で、FIT制度の契約期間が満了した後の太陽光パネルの廃棄については、どの様に適正処理するべきかがいまだ不透明なままになっており、2040年には現在の約200倍にあたる年間80万トンになると試算され、大量の廃棄パネルの適正処理が大きな社会的な課題になる事が想定されます。

【弊社の取り組み】

内田工業株式会社では、上記の廃棄パネルの処理問題に対応するべく、新規事業として太陽光パネル処理を専門とする部署を立上げ、新工場にて新規で中間処理許可を取得、少量からの受入でもリサイクルできる体制を整えさせていただきました。

また、この度の新規許可取得にあたり、岡山県内のあらゆるお客様のニーズに対応するべく、県内全域での移動式処理許可も同時に取得させていただきました。この許可取得により、NPC社製セミオートフレーム・J-BOX分離装置を車載し、現地へ装置自体を移動できる様になりました。今後、想定される事業用発電所の解体による大量発生事案や、災害などによる水没や土砂崩れによる破損パネルを、洗浄した後に現地で処理する場合など、あらゆる状況にも柔軟に対応できる体制を取らせていただいております。



装置



装置積載イメージ

